国際物流の未来をつくる

TRADIA

証券コード 9365

トレーディア株式会社

第96期 中間報告書

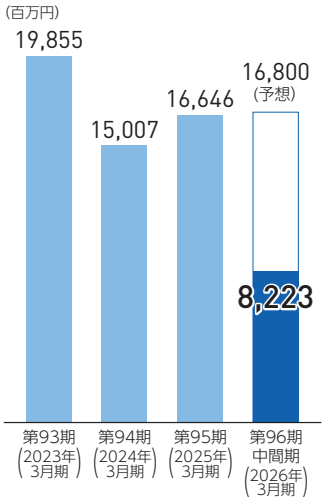
2025年４月１日～2025年９月30日

連結財務のハイライト

2026年3月期（中間期）

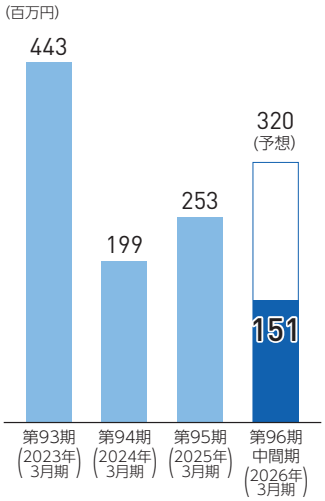
営業収入

82億23百万円



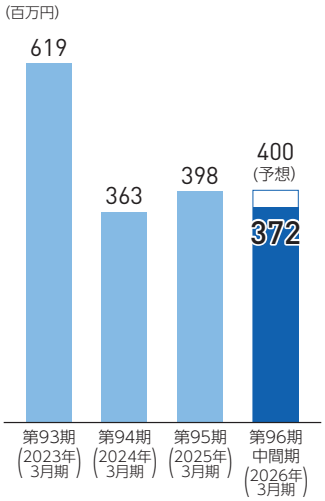
営業利益

1億51百万円



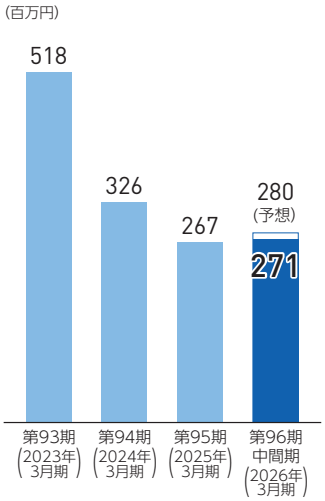
経常利益

3億72百万円



親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

2億71百万円



2026年3月期 通期予想

営業収入

168億00百万円

前年同期比 0.9%増

営業利益

3億20百万円

前年同期比 26.3%増

経常利益

4億00百万円

前年同期比 0.4%増

親会社株主に帰属する当期純利益

2億80百万円

前年同期比 4.6%増

詳細は、当社ホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。

https://tradia.co.jp/ir/

株主の皆様へ

代表取締役社長
吉田　大介

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第96期（2026年3月期）中間期の連結業績と取組状況についてご報告申し上げます。

物流を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、グローバル化、多様化、そしてデジタル化はますます進展し、より高度なロジスティクス・サービスが求められています。
このような事業環境の変化に対応するため、経営資源の最適化や収益性の改善を図るとともに、当社グループの持続的な成長及び企業価値向上に取り組んでまいります。

企業使命である「国際物流業務を通して世界の産業とくらしに貢献する」を念頭に、日々の進化に遅れをとることなく、最適な物流の流れを創造しお客様のご期待に応えるべくご提案してまいります。

今後とも、株主の皆様のご期待に沿うことができますよう努めてまいりますので、格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

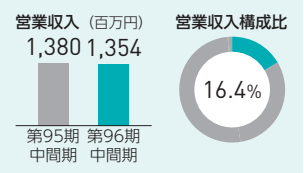
2025年12月

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、対米貿易の不確実性が後退したことや、インバウンド需要が引き続き堅調であったことなどから、小幅ながらも改善の動きが見られました。一方で、米中貿易摩擦、中国経済の減速、ウクライナ・中東情勢等の地政学的リスクもあり、世界経済が下振れする懸念も拭いきれておりません。
当社グループを取り巻く環境としては、輸出貨物の取扱量は米国の通商政策による混乱等の影響で、前年を下回って推移しました。輸入関連では、保管料収入は堅調でしたが、長引く物価高により、取扱量は前年を下回りました。国際物流網を担うコンテナ船による海上輸送においては、取扱量は前年を上回りましたが、運賃市況が下落傾向にあり、営業収入は前年同期並となりました。
当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期比1.2%減少しましたが、営業収入は前年同期比0.5%増の82億23百万円余（対前年同期41百万円余増）となりました。損益面につきましては、営業総利益は前年同期比14.5%増の5億69百万円余（対前年同期72百万円余増）となりました。営業損益は、一般管理費は増加したものの、前年同期比39.8%増の1億51百万円余の利益（対前年同期43百万円余増）、経常損益は、受取利息及び配当金と持分法による投資利益が大きく増加したことにより、前年同期比75.9%増の3億72百万円余の利益（対前年同期1億60百万円余増）となりました。その結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比84.3%増の2億71百万円余（対前年同期1億24百万円余増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

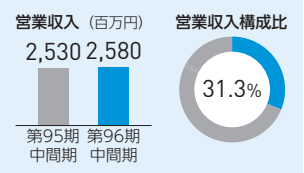
輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨、機械製品の取扱いの減少が響き、取扱量は前年同期比で9.5%減となりました。また、自社倉庫での取扱量や取扱件数も前年同期比で減少しました。輸出部門の営業収入は前年同期比1.9%減の13億54百万円余（対前年同期25百万円余減）としたものの、コスト減少、適正料金の収受の効果により、セグメント利益22百万円余（前年同期はセグメント損失6百万円余）の計上となりました。



輸入部門

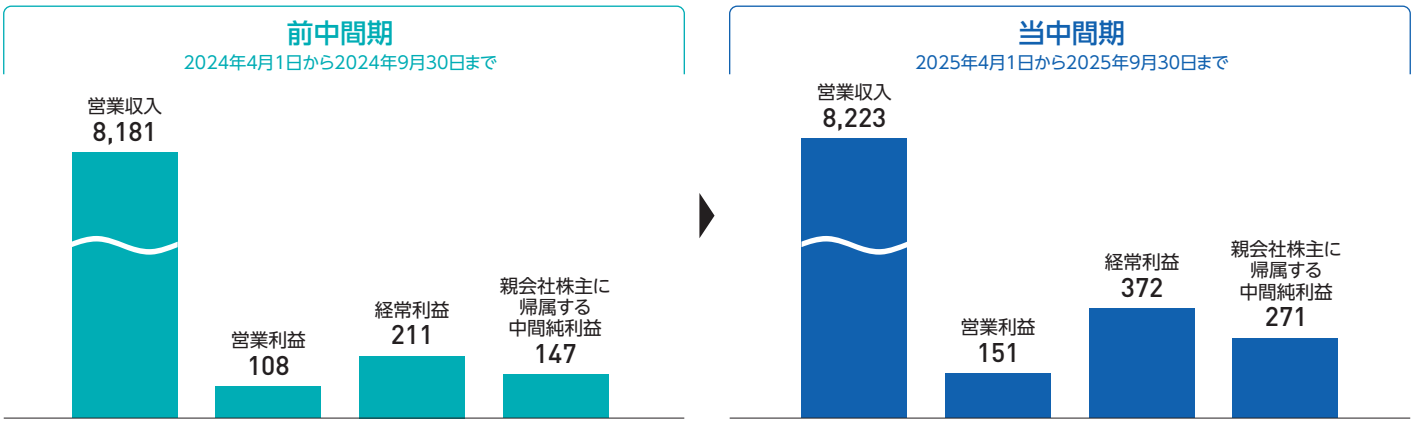
輸入部門におきましては、機械製品や食料品が増加しましたが、雑貨の減少により取扱量は前年同期比で1.1%減となりました。取扱件数は前年同期比で微減でしたが、自社施設での保管料収入が大幅に増加したことから収益性が改善し、輸入部門の営業収入は前年同期比2.0%増の25億80百万円余（対前年同期50百万円余増）、セグメント利益20百万円余（前年同期はセグメント損失21百万円余）の計上となりました。



連結財務諸表（要約）

中間連結損益計算書のポイント

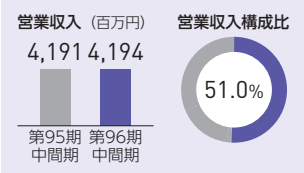
（単位：百万円）



（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

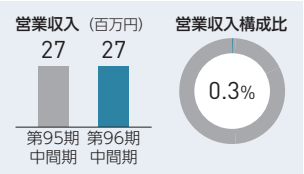
国際部門

国際部門におきましては、輸出・輸入ともに取扱量は前年同期を上回って推移しましたが、運賃市況が下落傾向となり営業収入は前年同期並となりました。輸出では、前年同期に好調だった設備輸送、三国間貿易の取扱減がありましたが、中国及び東南アジア向けの機械、建材、紙類を中心に集荷に注力し、取扱量は前年同期比7.5%増加しました。しかしながら、前年同期比で運賃の下落幅が大きく、取扱量増で補うには至らず、営業収入は前年同期比18.4%減となり収益性も低下しました。輸入では、運賃市況が下落傾向となったものの、猛暑の影響により夏物家電の取扱量が増加したことや、アパレル製品の持ち直し、医療製品や衛生関連品も堅調に推移した結果、取扱量は前年同期比2.2%増加しました。運賃の下落分を取扱量増で補い、営業収入は前年同期比6.2%増となり収益性も改善しました。結果、部門全体では、営業収入は前年同期比0.1%増の41億94百万円余（対前年同期3百万円余増）、輸出の収益性低下が影響し、セグメント利益は対前年同期比35.1%減の69百万円余（対前年同期37百万円余減）の計上となりました。



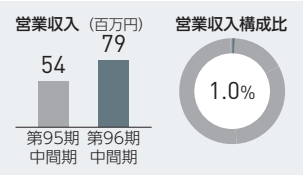
倉庫部門

倉庫部門におきましては、営業収入は前年同様の27百万円余となりました。セグメント利益は前年同様の25百万円余の計上となりました。



その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比47.3%増の79百万円余となり、セグメント利益は前年同期比186.9%増の13百万円余の計上となりました。



今後とも業績向上に全力で取り組み、株主の皆様のご期待に沿うことができますよう努めてまいりますので、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS① 六甲物流センター定温設備工事完成のお知らせ

本年7月より取り組みを開始いたしました、医薬品保管業務における拠点として、新たに神戸市東灘区の六甲物流センターの一部（2階及び3階部分）を常温倉庫から定温倉庫に改修いたしました。

今後より一層の医薬品保管業務への取り組み強化を図り、医薬品を保管及び輸送する物流会社として、安全で高品質な状態でお取引様へお届けするため、薬機法その他関係法規を遵守してまいります。

<施設概要>

名　　称：トレーディア株式会社　六甲物流センター
所　在　地：神戸市東灘区向洋町西2−8
建　　物：倉庫棟（定温倉庫:鉄骨造 地上3階建の2階及び3階部分）
面　　積：10,995.58㎡（入荷エリア、保管エリア、出荷エリアの区分あり）
機　　能：空調機器24時間監視システム、温湿度集中監視盤、温湿度センサー、感知式シートシャッター、全灯LED照明、垂直搬送機2基、貨物用エレベーター1基

TOPICS② 令和7年秋の褒章「黄綬褒章」受章のお知らせ

当社元代表取締役会長の古郡勝英が令和7年秋の褒章において「黄綬褒章」を受章いたしました。
長年にわたる通関業界の健全な発展、貿易の円滑化に向けた事業運営と活動に幅広く寄与した功績が評価されました。
このたびの受章は、ひとえにお客様やお取引先様及び業界、団体関係者の皆様のご指導・ご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。
これからも引き続き、業界や社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。

中間連結貸借対照表のポイント

（単位：百万円）

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況と株式の状況

（2025年9月30日現在）

会社概要

商号 トレーディア株式会社
所在地 神戸市中央区海岸通1丁目2番22号
設立年月日 1941年4月1日
代表者 代表取締役社長執行役員　吉田大介
従業員数 319名
営業種目 1.港湾運送業　2.通関業
3.普通倉庫業　4.貨物利用運送業
5.運送代理店　6.損害保険代理業
7.不動産賃貸　8.医薬品製造業
9.前各号に関連する一切の事業
主要取引銀行 みなと銀行・三菱UFJ銀行・三井住友銀行

事業拠点

関西 本店　神戸支店　大阪支社　六甲物流センター
摩耶埠頭倉庫　P.I.L15上屋　神戸西物流センター
大阪営業所（築港倉庫）　南港Q1上屋
東海 名古屋支店　潮凪物流センター　名四倉庫
関東 京浜支店　東京港営業所（城南島物流センター）
大井海貨上屋2号棟　横浜営業所（新山下倉庫）

株式の状況

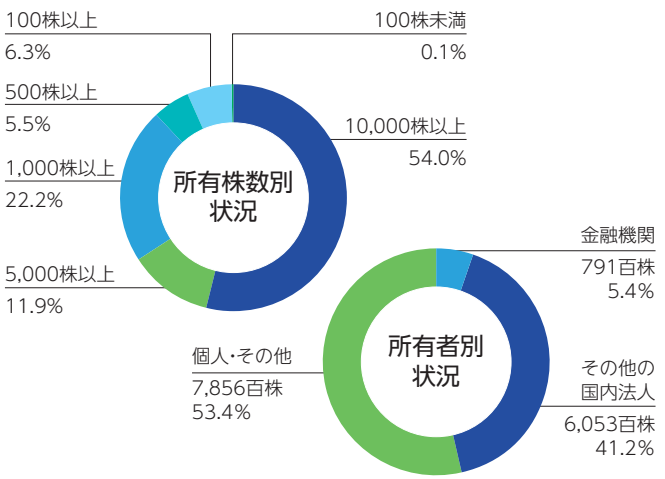
発行可能株式総数 …… 5,400,000株
発行済株式の総数 …… 1,470,000株
株主数 …… 1,124名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（百株）	持株比率（%）
トランコム株式会社	1,422	9.7
トレーディア株式会社社員持株会	1,030	7.0
大豊運輸倉庫株式会社	700	4.8
丸正株式会社	700	4.8
日本郵船株式会社	687	4.7
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	667	4.5
日本製麻株式会社	569	3.9
垂水 邦明	311	2.1
株式会社シンワ・アクティブ	250	1.7
頴川 欽和	219	1.5

（注1）持株数は百株未満を切り捨てて表示しています。
（注2）持株比率については、自己株式数（3,901株）を控除して算出し小数第2位を四捨五入して表示しています。

株式分布状況



UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

役員

代表取締役	社長執行役員	吉田　大介
取締役	上席執行役員／海外事業本部長	堀木　靖之
取締役	上席執行役員／営業統括本部長 兼 京浜支店長	羽澤　哲朗
取締役	執行役員／総務本部長	小林　英之
取締役	（社外取締役）監査等委員	中弥　和美
取締役	（社外取締役）監査等委員	織田研二郎
取締役	（社外取締役）監査等委員	石塚　一夫
上席執行役員	神戸支店長 兼 大阪営業所長	森田　勝徳
執行役員	財務本部長	茨木　信弘
執行役員	名古屋支店長	菅原　勲
執行役員	大阪支社長	松岡　隆至
執行役員	国際統括本部長	笹井　一成

株主メモ

決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会において、権利を行使すべき株主様は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様とします。
公告方法 電子公告
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部
0120-094-777
1単元の株式数 100株

（ご注意）
1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

https://koekiku.jp
アクセスキー

スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp